

第11期(平成28年3月期)
決算説明資料

平成28年6月9日



阪神高速道路株式会社

当期連結決算の概要

当社グループの当期の連結業績は、営業収益 **2,568億円**（前年同期比+360億円）、営業利益 **30億円**（前年同期比+10億円）、経常利益 **33億円**（前年同期比+8億円）、親会社株主に帰属する当期純利益 **24億円**（前年同期比▲1億円）となりました。
事業別の業績等の概要は、次のとおりです。

高速道路事業

- ◆ 阪神高速道路の一日あたり平均通行台数が約74万台（前年同期比1.5%増）と増加したことにより、
料金収入は1,723億円（前年同期比1.0%増）
- ◆ 道路資産完成高は711億円（前年同期比153.9%増）
- ◆ 道路資産賃借料は1,297億円（前年同期比1.6%減）
- ◆ この結果、
営業収益は2,441億円（前年同期比22.5%増）
営業費用は2,419億円（前年同期比22.2%増）
営業利益は22億円（前年同期比74.2%増）
となりました。

受託事業

- ◆ 国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設等の事業を受託したことにより、
営業収益は76億円（前年同期比51.5%減）
営業費用は76億円（前年同期比51.0%減）
- ◆ この結果、営業利益は9百万円
（前年同期比95.1%減）となりました。

その他の事業

- ◆ 休憩施設の運営、駐車場施設の運営等を展開したことにより、
営業収益は51億円（前年同期比12.4%減）
営業費用は43億円（前年同期比18.9%減）
- ◆ この結果、営業利益は8億円
（前年同期比55.5%増）となりました。

高速道路事業

単位：億円〔単位未満切捨て〕

主な増減内容

区 分		28年3月期	27年3月期	増減
営業収益	料金収入等	1,729	1,712	+17
	道路資産完成高(注)	711	280	+431
		2,441	1,992	+449
営業費用	道路資産賃借料	1,297	1,318	▲ 21
	道路資産完成原価(注)	710	273	+437
	管理費用	411	388	+23
		2,419	1,979	+439
高速道路事業 営業利益		22	12	+9

- 営業収益
 - ・通行台数は、一日当たり約74万台（前年同期比1.5%増）
 - ・料金収入は、通行台数増加の影響等により1,723億円（前年同期比17億円増）
 - ・道路資産完成高は、淀川左岸線残工事、修繕工事の完成等により711億円（前年同期比431億円増）

- 営業費用
 - ・協定に基づく道路資産賃借料は、1,297億円（前年同期比21億円減）
 - ・管理費用は、点検補修の強化等により、411億円（前年同期比23億円増）

（注）道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

関連事業

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

区 分		28年3月期	27年3月期	増減
受託事業	営業収益	76	157	▲ 81
	営業費用	76	155	▲ 79
	営業利益	0	1	▲ 1
その他の事業	営業収益	51	59	▲ 7
	営業費用	43	54	▲ 10
	営業利益	8	5	+ 2
関連事業 営業利益		8	6	+ 1

主な増減内容

●受託事業

大阪府道高速大和川線に係る大規模完成案件の減等により、営業収益は76億円（前年同期比81億円減）、営業費用は76億円（前年同期比79億円減）となり、営業利益は9百万円（前年同期比1億円減）

●その他の事業

営業収益は51億円（前年同期比7億円減）、営業費用は43億円（前年同期比10億円減）となり、営業利益は8億円（前年同期比2億円増）

(注)関連事業の「その他の事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、発生土再生活用事業等を含んでおります。

当期連結財務諸表の概要

単位：億円〔単位未満切捨て〕

連結貸借対照表			
区分	28年3月期	27年3月期	増減
総資産	2,419	2,417	+2
流動資産	1,984	1,979	+5
(うち仕掛道路資産)	1,278	1,276	+1
固定資産	435	438	▲ 3
総負債	2,089	2,050	+39
流動負債	441	471	▲ 30
固定負債	1,648	1,578	+69
純資産	330	367	▲ 36
株主資本	419	395	+24
資本金	100	100	-
資本剰余金	100	100	-
利益剰余金	219	195	+24
その他の包括利益累計額	▲ 93	▲ 31	▲ 62
非支配株主持分	4	3	0

連結損益計算書			
区分	28年3月期	27年3月期	増減
営業収益	2,568	2,208	+360
営業費用	2,538	2,188	+350
営業利益	30	19	+10
営業外収益	3	6	▲ 2
営業外費用	0	0	▲ 0
経常利益	33	25	+8
特別利益	0	4	▲ 3
特別損失	1	1	+0
税金等調整前当期純利益	32	28	+3
法人税等	7	2	+4
非支配株主に帰属する 当期純利益	0	0	+0
親会社株主に帰属する 当期純利益	24	25	▲ 1

平成29年3月期 連結業績の見通し

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

連結業績の見通し

親会社株主に帰属する当期純利益は、親会社の利益2億円に連結子会社7社の利益等6億円を加えた8億円となる見通しです。

なお、連結業績の見通しのうち、親会社の見通し額は国土交通大臣から認可を受けた平成28年度事業計画に基づいています。

(注) 平成29年3月期の業績見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

区 分		29年3月期 見通し	28年3月期 実績	増減
営業 収益	高速道路事業	2,717	2,441	+275
	料金収入等	1,791	1,729	+61
	道路資産完成高	925	711	+213
	関連事業	133	128	+4
		2,850	2,568	+281
営業 費用	高速道路事業	2,707	2,419	+287
	道路資産賃借料	1,341	1,297	+44
	道路資産完成原価	925	710	+214
	管理費用	440	411	+28
	関連事業	126	120	+6
	2,833	2,538	+295	
営業 利益	高速道路事業	10	22	▲ 11
	関連事業	6	8	▲ 1
	16	30	▲ 13	
経 常 利 益		14	33	▲ 19
親会社株主に帰属する当期純利益		8	24	▲ 15

平成29年3月期 個別業績の見通し

単位: 億円〔単位未満切捨て〕

区 分		29年3月期 見通し	28年3月期 実績	増減
営業 収益	高速道路事業	2,715	2,435	+279
	料金収入等	1,789	1,723	+65
	道路資産完成高	925	711	+213
	関連事業	89	95	▲ 6
		2,805	2,531	+273
営業 費用	高速道路事業	2,712	2,425	+286
	道路資産賃借料	1,341	1,297	+44
	道路資産完成原価	925	710	+214
	管理費用	445	417	+27
	関連事業	86	90	▲ 4
	2,798	2,516	+282	
営業 利益	高速道路事業	3	10	▲ 7
	関連事業	3	5	▲ 2
		6	15	▲ 9
経常利益		3	18	▲ 15
当期純利益		2	16	▲ 14

個別業績の見通し

営業収益は、
 2,805億円(前年実績比273億円増)
 営業利益は、
 6億円(前年実績比9億円減)
 当期純利益は、
 2億円(前年実績比14億円減)
 となる見通しです。

なお、見通し額は国土交通大臣から
 認可を受けた平成28年度事業計画に
 基づいています。

(注) 平成29年3月期の業績見通しには、
 不確定な要因を含んでおり、将来の
 業績等を保証するものではありません。
 実際の業績等については、様々な要
 因により変化するものであることをご承
 知おき下さい。

グループ経営体制

(平成28年3月31日時点)



【交通管理】

阪神高速パトロール(株)

阪神高速道路(株)



【関連事業】

(休憩所・駐車場・集客施設運営等)

阪神高速サービス(株)



【保全点検・維持修繕】

阪神高速技術(株)

【調査・設計・積算等】

阪神高速技研(株)

はんしんどほくぎじゆつしじゆんしゃんはいゆうげんこうし
阪申土木技術諮詢(上海)有限公司

内外構造(株)

(関連会社)

(株)情報技術
(株)テクノ阪神
(株)ハイウェイ管制
阪神施設工業(株)
阪神施設調査(株)

【料金收受】

阪神高速トール大阪(株)

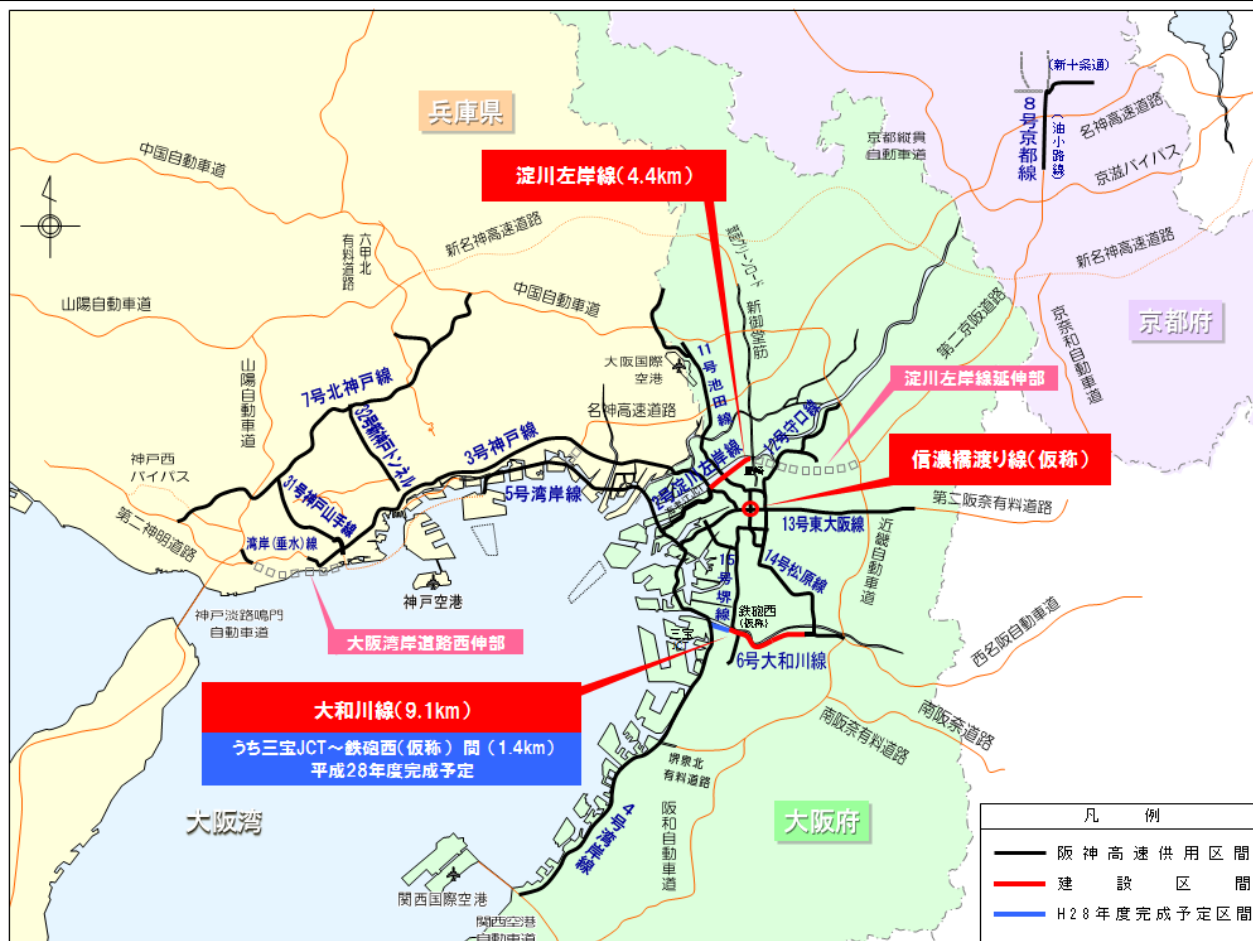
阪神高速トール神戸(株)



主なトピックス

1. ミッシングリンク解消に向けたネットワーク整備等

- * ミッシングリンク解消に向けて、引き続き、大和川線(三宝JCT～三宅西:9.1km)及び信濃橋渡り線(仮称)をはじめ建設事業を推進していきます。
- * 平成28年度は、大和川線(三宝JCT～鉄砲西(仮称):1.4km)の完成を予定しております。

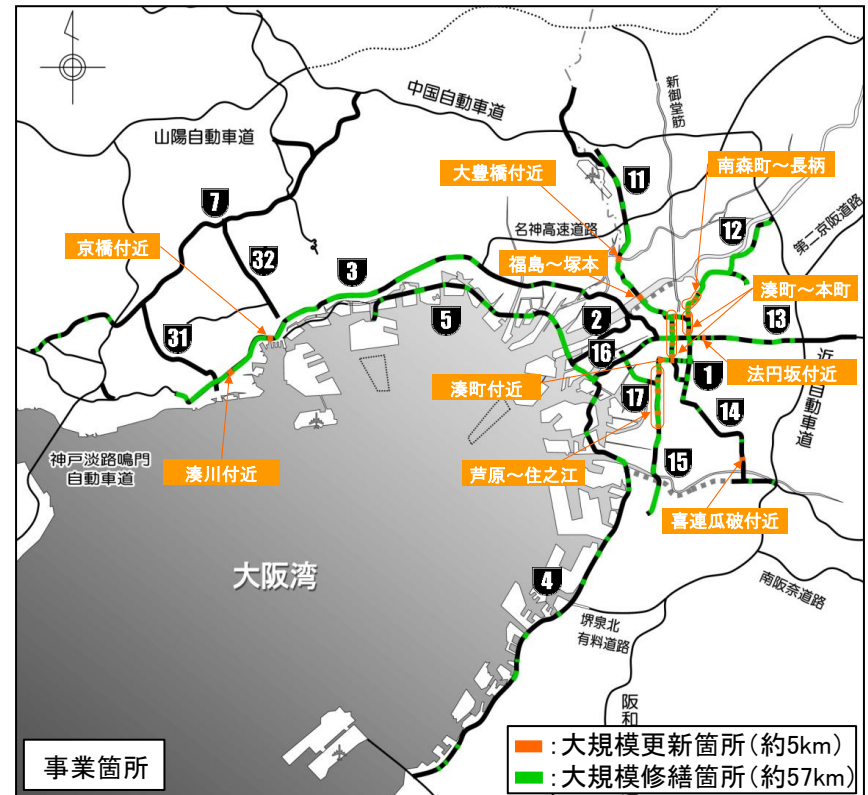


2. 大規模更新・修繕等による長寿命化の推進

* 昨年度より着手した「大規模更新・修繕事業」について、事業展開を図り、老朽化や繰り返し発生する損傷に対して全体的な修繕や抜本的な取替え(いわゆる更新)事業を進めてまいります。平成28年度は、大規模更新事業については、すでに着手している湊町付近(なんば)に加え、湊川付近(神戸市)の本格的調査に着手し、大規模修繕事業については、順次補強工事などを実施して参ります。

区分	路線	対象箇所	延長	開通年	事業年度	
大規模更新	橋梁全体の架替	3号神戸線	京橋付近	0.3km	S41	H33~40
		14号松原線	喜連瓜破付近	0.2km	S55	H32~38
	橋梁の基礎取替	15号堺線	湊町付近	(9基)	S47	H27~36
	橋梁の桁・床版取替	3号神戸線	湊川付近	0.4km	S43	H28~32
		11号池田線	大豊橋付近	0.3km	S42	H37~41
		13号東大阪線	法円坂付近	0.2km	S53	H39~41
	橋梁の床版取替	1号環状線	湊町~本町	0.6km	S39	H27~41
		11号池田線	福島~塚本	0.3km	S42	
		12号守口線	南森町~長柄	0.5km	S43	
		15号堺線	芦原~住之江	1.7km	S45	
		小計		5km	-	-
	大規模修繕	4号湾岸線、11号池田線ほか		57km	-	H27~41
	合計			62km	-	-

大規模更新・修繕事業



主なトピックス

3. 関連事業の展開

- * 阪神高速グループにおいてこれまで培ってきた技術・ノウハウを活用し、周辺の自動車専用道路等の一体的管理受託を実施しました。
- * 高架下等の道路空間や保有する資産を有効に活用し、社会のニーズに応えるため、海外事業を含む土木・建築コンサルティング事業、駐車場事業、保有資産有効活用事業等を積極的に展開しました。

○周辺の自動車専用道路等の一体的管理受託

- ・大阪港咲洲トンネル(大阪市港湾局:平成21年度より)
新たに平成27年度以降の指定管理者に指定され、以降5年間の維持管理を受託
- ・夢咲トンネル(国有港湾施設管理者大阪市港湾局:平成21年度より)
- ・第二阪奈有料道路(大阪府・奈良県両道路公社)
大阪府側は、平成25年度より維持管理、平成26年度より交通管理・交通管制、平成27年度より設備点検・事務所運営も併せて受託。
奈良県側は、平成24年度より維持管理を受託



第二阪奈有料道路

○構造物点検等の技術・ノウハウを活用した社会への貢献

- ・豊中市より:阪神高速11号池田線を跨ぐ名神口歩道橋の点検業務を受注
- ・堺市より:府道大阪臨海線等の道路パトロール、土木施設応急処置対応の受注(阪神高速技術(株)にて受注)

○道路空間や保有する資産の有効活用

- ・駐車場事業:239箇所事業を実施
- ・保有資産有効活用事業:旧社宅用地等を活用し、賃貸住宅事業等を展開。
平成27年度は、新たに甲子園駐車を転用した賃貸住宅を建設。
(阪神高速サービス(株)にて実施)

○道路建設・維持管理に係る設計・施工監理等コンサルティング


- ・ケニア国「道路維持管理業務の外部委託化に関する監理能力強化プロジェクト(フェーズ2)」を国際協力機構(JICA)から受注(平成26年4月～平成28年5月、建設技研インターナショナルとの共同企業体として)
- ・カンボジア国「道路・橋梁の維持管理能力強化プロジェクト」を国際協力機構(JICA)から受注(平成27年4月～平成30年3月、建設技研インターナショナルとの共同企業体として)
- ・カンボジア国「環境社会配慮にかかる実施機関能力向上プロジェクト詳細計画策定調査」を国際協力機構(JICA)から受注(平成27年5月～平成27年6月、単独型として)



JICA業務

◆本資料には将来の予測や見通しに関する記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績等を保証するものではありません。将来の業績等は経営環境の変化などにより、目標と異なる可能性があることにご留意下さい。

【お問い合わせ】

 阪神高速道路株式会社 経理部財務課

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号

TEL: 06-6252-8121(代)

FAX: 06-6251-6930

URL: <http://www.hanshin-exp.co.jp>